

行方で工場完成祝う

着色剤メーカー 小学校跡地に建設

プラスチック用着色剤の
 専門メーカーの日弘ビックス(東京、中村貴社長)は
 24日、行方市小牧で新工場
 の竣工式を開いた。高須敏
 美行方市長や施工を担当し
 た藤崎建設工業の藤崎政行
 社長をはじめ関係者ら22人
 が参加し、神事やテープカ
 ットを行い、新施設の完成
 を祝った。今後は準備を進
 め、2026年度早期の稼
 働を予定する。

需要拡大などを理由に、茨
 城県内に新工場を建設する
 ことを計画した。建設場所
 を探していた際、行方市で
 小学校跡地1万6872平
 方メートル(旧大和第一小、大和
 幼稚園)を活用できること
 を知り、同地に整備するこ
 とを決定。敷地内には工場
 棟(1904平方メートル)やテ
 ント倉庫(1250平方
 メートル)、事務所棟(270平
 方メートル)を新たに建設した。
 中村社長によると、新工
 場で製造するのは主に建設



茨城工場の完成
 を祝いテープカ
 ットを行う関係
 者ら。行方市小
 牧

関係で使用するプラスチック
 の着色剤で、千葉県と静
 岡県にある工場機能の一部
 を移し替える計画となる。
 また、工場新設に当たり、
 現地で複数名の採用も行っ
 たという。

中村社長は同社が本年度
 創立70周年を迎
 えることに触れ
 た上で、「記念す
 べき年に新工場
 の竣工を迎える
 ことができて非
 常にうれしく思
 っている。今日の日をステ
 ップに社員一丸となって頑
 張っていきたい」と語った。
 高須市長は「日弘ビックス
 が新たな製造・流通の拠点
 として本市に進出したこと
 は、喜ばしく心から歓迎す
 る」と述べた。(鶴岡宣規)